

2024年度  
VERSTA ジュサラ椰子 AF によるブラジル大西洋沿岸林再生支援事業  
プロジェクト会議&技術交流会派遣活動報告書 Part. 2

- I. 派遣期間：2024年8月19日（月）～8月29日（木）  
II. 派遣者：VERSTA 副理事長 近井昭夫、専務理事 小野瀬由一、理事 太田泰嗣  
III. 報告者：VERSTA 専務理事 小野瀬 由一

【活動 1-2】ジュサラ椰子 AF 技術交流会  
(第1日)

日時：2024年8月21日（水）15:30～17:00

場所：サンパウロ州パレケラスアス市

視察者：VERSTA 副理事長近井昭夫、専務理事小野瀬由一、理事太田泰嗣、VERSTA ブラジル共同代表 Luis Alberto Bucci、VERSTA 顧問小谷野奈美子（サンパウロ州在住）、SP 州環境局森林研究所研究員 Ocimar Jose Baptista Bim 氏

対応者：VERSTA ジュサラ椰子 SAF モデル圃場農家 Rubens T. Shimizu 氏及び Jairo Oliveira 氏

1) Rubens T. Shimizu 氏モデル圃場視察

Shimizu 氏は、2017年から VERSTA ジュサラ椰子 SAF プロジェクトに参加し、現在の栽培面積は 1.99ha、栽培本数は 844 本で、内訳は果実類 167 本、用材樹種 377 本、ジュサラ椰子 300 本となっている。

Shimizu 氏モデル圃場の栽培樹木の生育状況は、放置茶畑の伸びた茶木の下に栽培された茶・ジュサラ椰子 SAF におけるジュサラ椰子の成長は順調だが、日陰のない果実類の間に栽培された果実・ジュサラ椰子 SAF におけるジュサラ椰子の成長は不調であることが確認できた。

P63. Rubens T. Shimizu 氏モデル圃場 ◆茶木の下で順調に育つジュサラ椰子	P64. Rubens T. Shimizu 氏モデル圃場 ◆日陰のない樹木間のジュサラ椰子は生育不調
 <p>2024/08/22</p>	 <p>2024/08/22</p>

P65. Rubens T. Shimizu 氏モデル圃場

◆VERSTA 視察記念植樹



P66. Rubens T. Shimizu 氏モデル圃場

◆VERSTA 視察記念集合写真



## 2) Jairo Oliveira 氏モデル圃場視察

Jairo Oliveira 氏は、2017 年から VERSTA ジュサラ椰子 SAF プロジェクトに参加し、現在の栽培面積は 0.88ha、栽培本数は 1,240 本で、内訳は果実類 305 本、用材樹種 85 本、ジュサラ椰子 850 本となっている。

Oliveira 氏モデル圃場では、果実類のバナナとジュサラ椰子、用材樹種のパウ・ブラジルとジュサラ椰子の組み合わせによる SAF が試みれており、生育スピード早いバナナの日陰によりジュサラ椰子は順調に生育していることが確認できた。

P67. Jairo Oliveira 氏モデル圃場

◆ VERSTA 視察記念集合写真



P68. Jairo Oliveira 氏モデル圃場

◆傾斜面地で順調に育つパウ・ブラジル



(第 2 日)

日時：2024 年 8 月 22 日 (木) 9:30~12:00

場所：サンパウロ州セテバラス市・レジストロ市

視察者：VERSTA 副理事長近井昭夫、専務理事小野瀬由一、理事太田泰嗣、ブラジル共同代表 Luis Alberto Bucci 氏・Fernando Silveira Franco 教授 (サン・カルロス連邦大学) + 学生 4 名、顧問 小谷野奈美子 (サンパウロ州在住)、SP 州環境局森林研究所研究員 Ocimar Jose Baptista Bim 氏

応対者：SENAR コンサルタント Mario Terashima 氏、モデル圃場農家 Rubens T. Shimizu 氏、Jose R. Cunha 氏及び Kazutoshi Yamamaru 氏ほか

## 1) セテバラス市ハッポーザ地区 5 部会館訪問

ハッポーザ地区 5 部会館では、VERSTA 共同代表 Fernando Silveira Franco 教授（サン・カルロス連邦大学）＋学生 4 名と合流した。

5 部会館では、参加者の自己紹介後に、SENAR コンサルタント Mario Terashima 氏及びモデル圃場参加農家 Rubens T. Shimizu 氏から、リベイラ川流域のリアプレット村やハッポーザ村におけるジュサラ椰子 AF 導入の歴史と現状及び同会館の歴史について説明があった。

同地区では、エコツーリズムの受入れを実施しており、その中でジュサラ椰子 AF はアグロツーリズム資源として重要な位置付けである旨説明があった。

会館では、モデル圃場参加農家によるあずき入り 饅頭やジュサラ椰子果実菓子の提供があり、賞味した。

<p>P69. ハッポーザ地区 5 部会館訪問 ◆Terashima 氏からジュサラ椰子 AF 現状説明</p>	<p>P70. ハッポーザ地区 5 部会館訪問 ◆モデル圃場参加農家提供の手作り菓子</p>
 <p>2024/08/22</p>	 <p>2024/08/22</p>
<p>P71. ハッポーザ地区 5 部会館訪問 ◆日系ブラジル人ハッポーザ地区町内会看板</p>	<p>P72. ハッポーザ地区 5 部会館訪問 ◆VERSTA 視察記念集合写真</p>
 <p>2024/08/22</p>	 <p>2024/08/22</p>

## 2) Jose R. Cunha 氏モデル圃場訪問

Cunha 氏は、2017 年から VERSTA ジュサラ椰子 AF プロジェクトに参加し、現在の栽培面積は 1.18ha、栽培本数は 1,027 本で、内訳は果実類 222 本、用材樹種 162 本、ジュサラ椰子 643 本となっている。

Cunha 氏のジュサラ椰子 AF モデル圃場は、小高い山間の傾斜地が多く、果実類樹木の日陰に栽培されたジュサラ椰子が順調に生育していることが確認できた。

Cunha 氏のモデル圃場にも放置茶畑があり、この茶畑にジュサラ椰子苗木を栽培し、茶・ジュサラ椰子 SAF 栽培を開始しており、今後のジュサラ椰子 SAF の面積拡大を期待したい。

P73. Jose R. Cunha 氏モデル圃場

◆果樹類の間で順調に育ったジュサラ椰子



P74. Jose R. Cunha 氏モデル圃場

◆ 放置茶畑への VERSTA 視察記念植樹



P75. Jose R. Cunha 氏モデル圃場

◆放置茶畑への VERSTA 視察記念植樹



P76. Jose R. Cunha 氏モデル圃場

◆VERSTA 視察記念集合写真



### 3) Kazutoshi Yamamaru 氏モデル圃場訪問

Yamamaru 氏は、2017 年から VERSTA ジュサラ椰子 AF プロジェクトに参加し、現在の栽培面積は 2.39 ha、栽培本数は 2,483 本で、内訳は果実類 220 本、用材樹種 450 本、ジュサラ椰子 1,813 本となっている。

Yamamaru 氏のジュサラ椰子 AF モデル圃場は、小高い山間の傾斜地が多く、放置茶畑や果実類樹木の日陰に栽培されたジュサラ椰子が順調に生育していることが確認できた。

Yamamaru 氏のジュサラ椰子 AF モデル圃場では、エコツーリズムの受入れを毎年実施し、茶畑を活かしたジュサラ椰子 AF を売りにしてしている。

Yamamaru 氏のジュサラ椰子 AF モデル圃場では、定期的な圃場管理が行われているため、今後も放置茶畑を活かした茶木+ジュサラ椰子 AF の面積拡大を期待したい。

<p>P77. Kazutoshi Yamamaru 氏モデル圃場 ◆茶木の間で順調生育のジュサラ椰子（6年）</p> 	<p>P78. Kazutoshi Yamamaru 氏モデル圃場 ◆果樹の間で順調生育のジュサラ椰子（4年）</p> 
<p>P79. Kazutoshi Yamamaru 氏モデル圃場 ◆順調に生育するパウ・ブララジル木</p> 	<p>P80. Kazutoshi Yamamaru 氏モデル圃場 ◆VERSTA 視察記念集合写真</p> 

(第3日)

日時：2024年8月24日（土）14:00～15:00

場所：サン・カルロス連邦大学（UFSCar）環境農業実験農場

視察者：VERSTA 副理事長近井昭夫、専務理事小野瀬由一、理事太田泰嗣、ブラジル共同代表 Luis Alberto Bucci 氏、顧問 小谷野奈美子（サンパウロ州在住）、SP 州環境局森林研究所研究員 Ocimar Jose Baptista Bim 氏

応対者：サン・カルロス連邦大学環境農業専攻 Fernando Silveira Franco 教授＋学生

UFSCar 環境農業実験農場は、大学から車で5分の近隣にあり、実験農場からは大学を遠望できる。

実験農場で栽培されている樹木は、7年前に栽培したブラジル原産の材木用アルカナリアや竹、柑橘系のライム、リーマ種オレンジ、タンジェリン等及び花卉類が栽培されている。

<p>P81.UFSCar 環境農業実験農場 ◆実験農場内に栽培された果樹類</p>	<p>P82. UFSCar 環境農業実験農場 ◆ 実験農場内に栽培された花卉類</p>
	
<p>P83. UFSCar 環境農業実験農場 ◆実験農場内に栽培された花卉類</p>	<p>P84. UFSCar 環境農業実験農場 ◆実験農場内に栽培された用材種の竹</p>
	

### 【活動 1-3】 VERSTA カウンターパート 表敬訪問

(第 1 日)

#### 1) レジストロ市長 Nilton Hirota 氏 表敬訪問

日時：2024 年 8 月 21 日 (水) 17:30～18:00

場所：サンパウロ州レジストロ市市庁舎

訪問者：VERSTA 副理事長近井昭夫、専務理事小野瀬由一、理事太田泰嗣、ブラジル共同代表 Luis Alberto Bucci、顧問 小谷野奈美子 (サンパウロ州在住)、モデル圃場農家 Rubens T. Shimizu 氏

対応者：サンパウロ州レジストロ市長 Nilton Hirota 氏ほか

対応概要：VERSTA 小野瀬専務理事から、ジュサラ椰子 AF の現状と今後の課題について報告した。

Hirota 市長からは、TV-BAND が行っているサステナブル認定制度において、レジストロ市が認定され表彰を受けた旨報告があった。

今回の表敬訪問では、レジストロ市は VERSTA ジュサラ椰子 AF カウンターパートとして提携関係を続け、参加農家の拡大を続けていくことを確認出来た。

#### P85.レジストロ市長 Nilton Hirota 氏表敬訪問

##### ◆TV-BAND サステナブル市認定賞状受賞



#### P86.レジストロ市長 Nilton Hirota 氏表敬訪問

##### ◆VERSTA 訪問記念写真



(第 2 日)

#### 2) セチバラス市長 Dean Martins 氏 表敬訪問

日時：2024 年 8 月 22 日 (木) 16:00～16:30

場所：サンパウロ州セチバラス市市庁舎

訪問者：VERSTA 副理事長近井昭夫、専務理事小野瀬由一、理事太田泰嗣、ブラジル共同代表 Luis Alberto Bucci、顧問 小谷野奈美子 (サンパウロ州在住)

対応者：サンパウロ州セチバラス市長 Dean Martins 氏ほか

対応概要：VERSTA 小野瀬専務理事から、ジュサラ椰子 AF の現状と課題について報告した。

Martins 市長からは、VERSTA ジュサラ椰子 AF プロジェクトは同市リオプレット村 6 農家から始まり、ここまで大きなプロジェクトに発展した事に敬意を表する旨挨拶があった。

また、9月にサンパウロ州内では市議改選があり、セチバラス市の次期市長として Endo 副市長が立候補しているので、同市と VERSTA プロジェクトとの提携関係は続けたい旨発言があった。

P87.セチバラス市長 Dean Martins 氏表敬訪問

◆ VERSTA 訪問記念写真



(第3日)

3) サンパウロ政府森林財団 FF 表敬訪問

日時：2024年8月27日(火) 14:30～15:00

場所：サンパウロ政府森林財団 FF

訪問者：VERSTA ブラジル共同代表 Luis Alberto Bucci、専務理事小野瀬由一、理事太田泰嗣

応対者：サンパウロ政府森林財団 FF 北部湾岸部長 Diego Hernandez Rodrigues Laranja 氏、南部湾岸委員会顧問 Jorge de Andrade Freires 氏

応対概要：VERSTA 小野瀬専務理事から、持参した VERSTA チラシにより、ジュサラ椰子 AF 支援事業の経緯、現状及び課題について説明した。

FF 北部湾岸部長 Diego Hernandez Rodrigues Laranja 氏からは、ブラジル政府は SAF による大西洋沿岸林再生支援を注目している旨コメントがあった。

VERSTA 共同代表 Bucci 氏からは、FF に対し VERSTA ジュサラ椰子 AF プロジェクトへの助成要請が述べられた。

4) サンパウロ政府森林研究所表敬訪問

日時：2024年8月27日(火) 15:00～15:30

場所：サンパウロ政府森林研究所 IPA コーディネーター室

訪問者：VERSTA ブラジル共同代表 Luis Alberto Bucci、専務理事小野瀬由一、理事太田泰嗣

応対者：サンパウロ政府森林研究所 IPA コーディネーター Marco Aurelio Nalon 氏

応対概要：VERSTA 小野瀬専務理事から、持参した VERSTA チラシにより、ジュサラ椰子 AF 支援事業の経緯、現状及び課題について説明した。

IPA Nalon コーディネーターからは、ブラジルでは9月に COOP30 と G20 があり、SAF による大西洋沿岸林再生事業が注目されている旨コメントがあった。

5) TV-BAND 表敬訪問

日時：2024年8月27日(火) 16:00～17:00

場所：TV-BAND 社長室・専務理事室

訪問者：VERSTA ブラジル共同代表 Luis Alberto Bucci、専務理事小野瀬由一、理事太田泰嗣

応対者：TV-BAND CEO Joao Carlos Saad 氏、専務理事 Caio Luiz de Carvalho 氏

応対概要：VERSTA 小野瀬専務理事から、持参したチラシにより、VERSTA ジュサラ椰子 AF プロジェクトの現状と課題について説明した。

Saad 社長が所有する Sao Joan 農場は、管理者が替わり、栽培品目も変更しているので、ジュサラ椰子 AF 苗木栽培については、新しい管理者と相談する旨コメントがあった。

Saad 社長面談後に Carvalho 専務理事と面談し、先日岸田首相が来伯した際、Carvalho 氏は日本政府から日本国「旭日中綬章」を受賞した旨報告があった。

面談終了後、スタジオディレクターの案内で、TV-BAND 内のラジオ放送局、TV 放送局、SNS メディア放送局、ライブスタジオ等を見学した。

P88. TV-BAND Saad 社長表敬訪問

◆ Saad 社長室前での集合写真



## 【活動 1-4】日伯政府機関等表敬訪問

(第 1 日)

### 1) ブラジル日本商工会議所表敬訪問

日時：2024 年 8 月 26 日 (月) 9:30～10:10

場所：ブラジル日本商工会議所応接室

訪問者：VERSTA 専務理事小野瀬由一、理事太田泰嗣

応対者：ブラジル日本商工会議所 (BJCC) 事務局長 村田俊典氏

応対概要：村田事務局長は銀行マン出身で、BJCC では会頭に 3 期就任した後に事務局長に就任した旨経歴の説明があった。現在の BJCC の会員は、個人会員 180 人、企業会員 307 社とのことであった。

また、村田事務局長はブラジル在住 26 年を経験し、ブラジルビジネスはビッグオポチュニティを有していると感じており、ブラジルビジネスでは経費＝投資と考える必要がある旨発言があった。

VERSTA 小野瀬専務理事から、ジュサラ椰子 AF プロジェクトの経緯と現状課題について説明し、BJCC 会員からの協力をお願いした。

村田事務局長からは、ジュサラ椰子果実の高付加価値製品化について、MN プロポリス社とのジョイントについて提案があった。

#### P89. ブラジル日本商工会議所表敬訪問

##### ◆ 理事・事務局長村田氏との集合写真



### 2) JICA ブラジル事務所表敬訪問

日時：2024 年 8 月 26 日 (月) 11:00～11:30

場所：JICA ブラジル事務所応接室

訪問者：VERSTA 専務理事小野瀬由一、理事太田泰嗣

応対者：JICA ブラジル事務所 所長 宮崎明博氏、次長 川村怜子氏

応対概要：VERSTA 小野瀬専務理事から、川村次長に対し 2023 年 2 月のジュサラ椰子 AF 研修学生の訪問時歓迎に対し御礼を述べると共に同研修報告書冊子を手渡した。

宮崎所長から、ブラジルでは今年 9 月に COOP30、G20 が開催されることもあり、ブラジルの森林保全の重要性が話題になっており、日本の VERSTA による大西洋沿岸林再生のためのジュサラ椰子 AF 支援事業に対し注目度が高まっている旨発言があった。また、VERSTA 支援活動については、岸田首相が訪伯した際にも伝えている旨コメントがあった。

P90. JICA ブラジル事務所表敬訪問

◆ 宮崎所長・川村次長との集合写真



3) JETRO ブラジル事務所表敬訪問

日時：2024年8月26日（月）11:00～11:30

場所：JETRO サンパウロ事務所応接室

訪問者：VERSTA 専務理事小野瀬由一、理事太田泰嗣

応対者：JETRO サンパウロ事務所 経済部長 中山 貴弘 氏

応対概要：中山部長から、ブラジル経済について、ブラジル製品の輸出は2023年に過去最高になり、相手国は中国となっている。日本への貿易は2011年をピークに2016年まで低下し、その後は横ばい状態である旨説明があった。また、日本のブラジルにおける自動車生産は、トヨタがエタノールフレックス車製造を2019年から開始したが、現在の販売シェアは6%程度の5番手に留まっている旨説明があった。

小野瀬専務理事からVERSTA案内チラシによりVERSTA活動について解説したところ、今年度からVERSTAへ入会した小平英紀理事は日本青年会議所国際留学制度のブラジル留学で一緒だった旨発言があった。

P91. JETRO サンパウロ事務所表敬訪問

◆ 中山経済部長との集合写真



4) 在サンパウロ日本国総領事館表敬訪問

日時：2024年8月26日（月）16:00～16:30

場所：在サンパウロ日本国総領事館総領事室

訪問者：VERSTA 専務理事小野瀬由一、理事太田泰嗣

応対者：在サンパウロ日本国総領事 清水 享 氏、副領事 吉田 佳代 氏

対応概要：VERSTA 小野瀬専務理事から、VERSTA 案内チラシにより、ジュサラ椰子 AF による大西洋沿岸森林再生事業の経緯と現状について説明した。

清水総領事からは、ブラジルでは9月に COOP30、G20 が開催されるため、ブラジル政府は自然環境を活かしながら森林再生する SAF として VERSTA ジュサラ椰子 AF が注目されており、近々 VERSTA ジュサラ椰子モデル圃場を訪問したい旨コメントがあった。また、清水氏は総領事就任後、SAF 手法を導入したといわれるベレンのアサイー椰子圃場を訪問したが、アサイー椰子は大規模栽培されており、SAF としては違和感があった旨コメントがあった。

P92. 在サンパウロ日本国総領事館表敬訪問

◆ 清水総領事との集合写真



(第2日)

5) ブラジル日報表敬訪問

日時：2024年8月27日(火) 10:00～11:00

場所：ブラジル日報応接室

訪問者：VERSTA ブラジル共同代表 Luis Alberto Bucci、専務理事小野瀬由一、理事太田泰嗣

対応者：ブラジル日報編集長 深沢正雪 氏

対応概要：VERSTA 小野瀬専務理事から、チラシ資料によりジュサラ椰子 AF 支援活動の経緯と現状について説明し、併せて8月23日にセチバラス市コミュニティセンターで開催されたプロジェクト会議及び技術交流会開催結果について報告した。

なお、対応の詳細は、以下のブラジル日報 web 版 2024年9月5日 [日系社会ニュース]

(<https://www.brasilnippou.com/2024/240905-23colonia.html>) を参照下さい。

P93. ブラジル日報社表敬訪問

◆ ブラジル日報会議室における集合写真



#### IV. 2024 年度ジュサラ椰子 AF プロジェクト会議報告及び技術交流会派遣に関する考察

今回のジュサラ椰子 SAF プロジェクト会議報告及び技術交流会は、2024 年 8 月 19 日（月）から 8 月 19（木）までの 11 間の旅程であった。

8 月 23 日（金）9 時から 13 時まで開催したプロジェクト会議には、在サンパウロ日本国総領事館清水総領事及び JICA サンパウロ事務所宮崎所長から動画による祝辞があった。会議はリアル+リモートによるハイブリッド方式で行なわれ、会場参加はレジストロ市農業高校生徒 50 名の若者等を含む 137 名、オンライン参加者は 159 名の昨年を上回る合計 293 名に達し、昨年同様ブラジル国内における関心の高さが見られた。

今回のプロジェクト会議及び技術交流会の運営は、VERSTA ブラジル共同代表 Bucci 氏（IPA 顧問）と Franco 氏（UFSCar 教授）による新指導体制で行われたが、全てスケジュールどおり実施する事が出来た。

ただし、今年度のジュサラ椰子 AF プロジェクトは、この後直ぐに、【活動 2】AF 等モデル圃場拡大とフォローアップ指導が 3 回、および【活動 3】ジュサラ椰子 AF 等啓発セミナー（AF 環境学習会）が 2 回計画されているため、新指導体制と緊密な連携を取りながら進める必要がある。

当プロジェクトが直面している大きな課題としては、ジュサラ椰子栽培が 7 年目の収穫期を迎えているハッポーザ村モデル圃場におけるジュサラ椰子果実を利用し、ジュサラ椰子果実のアンチエイジング成分やホルモン促進成分を活かした高付加価値製品開発の実現がある。

VERSTA としては、当プロジェクトに日伯両国の企業参加を呼び掛けることにより、ジュサラ椰子果実の高付加価値製品化を推進し、当プロジェクト参加農家が日本からの助成金に依存せずジュサラ椰子 SAF 栽培を継続できる自立体制を早期に実現したい。

以上